

ご自由にお持ち帰りください。

狛江市 男女共同参画 推進委員会 だより！

第 5 号

平成29年3月発行

笠井信輔さんが狛江で講演！

小金井・国立市民との交流会で得たものは？

身近なところにも男女共同参画が！



狛江市男女共同参画推進フォーラム 平成29年1月29日（日）

フジテレビアナウンサー 笠井信輔さんの講演

（来場者数：男性22名 女性83名 計105名）



講演の様子

笠井さんは狛江市出身ということもあり、地元トーク満載でお話は始まりました。

20数年前、妻の出産に立ち会うために生放送を休んだアナウンサーとして話題になり、その反響は大きかったけれど、そのほとんどがお褒めの言葉。「大事な仕事をよく休んだ！」「会社は看板アナウンサーをよく休ませた！」といった言葉を聞き、会社より世の中の方が進んでいると感じたそうです。

「子育てには誰かの助けが必要。」笠井さん自身も3人の子どもを育てるため、地域の人、友達、公園仲間、そして家族、色々な助けを借りました。子どもを持つ女性が社会に出たいと言った時、周りの人はそれをわがままととらえることなく、背中を押してほしい。自分の心の健康、自分の将来のため、そして健やかな育児のために働くのもいい、そんな女性を支えるのは夫であり家族なのです。

また、東日本大震災の取材を通じて感じたこととして、日頃の訓練の大切さと、いざという時に知り合いがいることの大切さについてもお話いただきました。

<アンケートでお寄せいただいたご意見>

- ◇子育て、夫婦関係等、時代が変わっているということを感じました。（70代）
- ◇夫と二人で聞かせていただきました。私が何十回と子育てのSOSを話しても、聞く耳はなかったのですが、今日きっと彼は心に響いたのではないのでしょうか。ありがとうございました。（60代）
- ◇子育て、夫育ての大切さを感じました。私は夫育てに失敗しました（笑）。震災の話もためになりました。（60代）
- ◇育児に追われていますが、大変気持ちが楽になりました。（40代）
- ◇子育て、防災、大変貴重な時間ありがとうございました。とても心に響きました。（30代）

<フォーラムの感想-委員会より->

- ・さすがアナウンサー、聞き取りやすい言葉でお話もわかりやすく、来場者が皆「楽しかった」とお帰りになったので良かった。
- ・子育てがひと段落して、孫の面倒を見る世代に話を聞いてもらったので成果があったと思う。
- ・赤ちゃん連れの方もいたが、赤ちゃんが最後までおとなしくしていたのでちょっと驚いた。



サインをいただきました

狛江市・小金井市・国立市の市民交流会 平成28年7月31日・10月22日

<第1回>

平成28年7月31日(日) 国立市役所にて

参加者 狛江市4人、小金井市5人、国立市4人

【議題】

- ・参加者自己紹介
- ・啓発物品の選定
- ・「今考えたい男女共同参画」について意見交換



<交流会で出た意見>

- ◇産休・育休・時短制度に対する職場の理解がなかなか得られない。(ワークライフバランス)
- ◇子どもの遊び場、集まれる場所が少なくなっている。ぜひ子どもの居場所づくりを。(子育て)
- ◇いざという時に隣近所で助け合うため、日頃から顔の見える関係づくりをしたい。(防災)
- ◇将来、誰にでもやってくる問題。今のうちから老後の居場所づくりをしておこう。(介護)
- ◇身近に当事者がいるかもしれない。多様性を認め、誰もが暮らしやすい社会をつくっていくことが大切。(LGBT)

※LGBTとは、レスビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender) の人々の総称を表す頭字語

<第2回>

平成28年10月22日(土) 国立市役所にて

参加者 狛江市5人、小金井市3人、国立市4人

【議題】

- ・参加者自己紹介
- ・キャッチフレーズ優秀賞の選定
- ・情報冊子案について意見交換
- ・「今考えたい男女共同参画」について意見交換

キャッチフレーズ優秀賞

- ・地域から 互いを認め思いやる
やさしい社会めざそうよ
- ・すてきだね みんなが主役の参画社会
- ・そばにある 手と手つないで 大きな輪



<交流会の感想-委員会より->

- ・地域のつながりと、顔と顔の見える関係づくりの大切さを再認識できた。
- ・出産と起業を控えている参加者の話を聞いて、感心した。
- ・初めて市民交流会に出席したが、皆熱心で圧倒された。LGBTの当事者に対して色々なことを聞くことができて勉強になった。

入庁の動機は音楽隊！



狛江消防署 警防課消防係 樫山 彩さん

東京消防庁音楽隊に憧れて、平成17年に東京消防庁へ入庁。麹町消防署、東京消防庁音楽隊を経て平成25年10月より狛江消防署に勤務している。趣味はウィンタースポーツ、クラリネット、ドライブ。

Q1. どんなお仕事をされているか教えてください。

「通信担当」という仕事をしています。災害現場で司令塔の役目を果たす指揮隊車の運行を任されています。赤色灯の点灯及びサイレン吹鳴のもと、緊急走行で災害現場に出場し、災害推移や部隊の活動状況を逐一、無線を使って立川にある本部に報告することが任務です。

Q2. 消防士という職業を選んだ理由を教えてください。

学生の頃吹奏楽部でクラリネットをやっていたので、音楽隊に入隊したかったんです。音楽隊にいた時には狛江に演奏しに来たこともあります！両親が車関係の仕事をしていた影響で、車に乗る仕事にも興味がありました。今はポンプ車を運転する資格も持っていますよ。

Q3. 職場で感じる男女の違いや困ったことがあれば教えてください。

事務も多いですが、やはり力仕事が多いので、どうしても女性にはできないことがあります。男女で考え方や視点が違うと思うので、男性ができない、気づかない穴を見つけようと思って仕事をしています。

Q4. 消防士になって、理想と現実の違いがあれば教えてください。

気合と根性！体もゴツくて怖い人が多い！というイメージでしたが、実際はみんな優しくて色々と助けてくれるので、ありがたく甘えてしまうこともあります。もともと体力のある方ではなかったけれど一生懸命やれば認めてもらえるんだと思いました。ちなみに握力は35kgです♪

Q5. 男性の多い職場で働く女性として、周りに気遣ってもらっていることはありますか。

困っているとすぐに助けてもらえますが、それは女性だからだと感じたことはありません。育児休業等はきちんと取れる職場で、最近では男性が育児休業を取得するケースも出てきています。私自身も結婚、出産してもこの仕事を続けたいと思っています。

Q6. 「男女共同参画」について知っていること、意識していることはありますか。

男性社会の中でも女性として活躍したい、女性だからこそその能力を発揮できるものを探していきたいと思っています。ずっと現場にいたいのですが、40代、50代と体力は衰えていくので、その時の立場と状況に応じた仕事の仕方を考えていきたいです。



現役パパ保育士さん！

狛江市立三島保育園 織畑 真さん

「子どもが好きだから」と、幼稚園教諭免許と保育士資格を取得。4歳、1歳のお子さんを持つ現役パパ。歌もピアノも得意。狛江市立保育園では初めての男性正職員保育士で、現在の園に勤めて7年目。



Q1. どんなお仕事をされているか教えてください。

保育士の仕事は、大きく分けると子どもの育ちの支援と保育者の支援です。僕は年長クラスの24人を担当していて、就学に向けて自分の意見を言えるようにしたり、集団遊びを通してチームワークを育んだりしています。

Q2. 保育士という職業を選んだ理由を教えてください。

「子どもが好きだから」という一言に尽きます！

Q3. 職場で感じる男女の違いや困ったことがあれば教えてください。

男性用更衣室もあるし、トイレは大人用のものが2つあります。女性の方が気を遣ってくれているかもしれませんが…。男だからこうしなきゃという思いはなく、個人の得意なところを活かして保育を提供したいと思っています。男性は力があるので、ダイナミックな遊びやボールの投げ方の指導は得意です。

Q4. 保育士になって、理想と現実の違いがあれば教えてください。

子どもと遊ぶことが仕事と思われがちですが、実際はクラスのこと、家庭の支援、指導計画など事務や考える事が多いです。そして、保育士は子どもの命を預かる専門職です。

女性が多い仕事であることは覚悟の上だったので、そこまで抵抗はありません。でも、男性でも長く続けられるような環境を整えてもらいたいですね。

Q5. 女性の多い職場で働く男性として、周りに気遣ってもらっていることはありますか。

職場のみんながお母さんのようで、まめに声をかけてくれます。自分もそういう職員になろうと、日々勉強させてもらっています。

Q6. 「男女共同参画」について知っていること、意識していることはありますか。

「性別関係なく活躍しよう」というイメージです。男女の区別は必要ですが、差別とは違います。男女それぞれが得意なことを活かして役割を持ち、コミュニティを動かせるようにしたいと思います。

家庭では、子育て中の妻に自由な時間を持ってもらえるように、早く帰って子どもとの時間を増やす工夫をしています。

<取材へ行った感想 -委員会より->

- ・お2人とも、信念を持って仕事をしている一方で、必要以上に敏感にならず、自分を見失わず、その人なりに頑張るスタンスを持っていてすごいと思った。
- ・女性消防士さんは男性の気づかない穴を埋めようと仕事をしているとのこと、これはまさに男女が互いを認め合い、助け合っている職場だと思った。



委員9人の男女共同参画推進への思い

〔男性5人・女性4人〕

◇新たな年を迎え、自分らしい生き方ができているかなと思います。委員会のメンバーとなり、多種、多様な情報を得ています。共に学び合うことで心豊かにもなる、今後も互いを認め思いやり元気でたのしい人生の舵取りをしていきたいと考えています。

委員長 西山 偕子



◆現役時代在籍した会社に女性人事部長誕生。女性活躍推進法施行以前より、「産前産後の100%給与保証」など国の制度以上の育児支援制度を整備、充実してきた立役者でありワーキングマザーでもあります。後輩の活躍！励みになります。(S. S)

◇平成28年度粕江市男女共同参画推進委員会だより第5号が出来上がりました。今回の企画で男性保育士さんのインタビューに参加させていただきました。保育士さんから『命を預かる仕事』という言葉聞き、胸が熱くなり頭が下がる思いでいっぱいになりました。充実した内容満載の第5号を、たくさんの方達には是非ご覧いただきたいと思っています。(M. I)

◆男女共同参画は言葉こそ難しく何のことやらと思われませんが、単純に他を認め性別や年齢の違いもある中で立場を置き換えて思いやる事が出来たら自然に共同参画なのかなと感じます。フォーラムが多くの方に共同参画を考えるきっかけとなればと思います。(R. T)

◇笠井信輔さんのフォーラム、多摩3市の市民交流会(小金井・国立・粕江)、男女共同参画推進委員会に参加し新しい考えや情報に気付くことが多々ありました。これからも気付きに感謝しながら活動したいと思います。(M. K)



フォーラム後 笠井さんと



委員会の様子

今後とも委員会の活動にご注目ください。

◆委員活動で様々な学びがあり、委員になれたことに感謝しております。先日も男女共同参画推進フォーラムで、講師の笠井さんの「夫が子育てに参加するのではなく、子育てをするんです」という言葉に感銘を受けました。私も委員会活動で学んだことを少しでもわかりやすく皆様に伝えることが出来るように頑張りたいと思います。(R. H)

◇男女共同参画推進を目的にフォーラムを重ね多くの方々が足を運んでくださる様になりました。今後も難しく考えずに身近なところから一人ひとりが理想的な共同参画を考えるきっかけ作りが出来たらと思います。(K. Y)

◆1月のフォーラムには、多くの皆様に参加いただき、男女共同参画について身近に考えられる機会になったと思います。今後、更に多くの皆様に周知できるよう考えながら活動していきたいと思います。(Y. M)

◇陸上競技のS級審判員として28年間、老若男女さまざまな人が活躍する姿を見てきました。今後も自分の得意分野において生き生きと過ごしていきたいと思います。(T. N)



一 狛江市男女共同参画推進委員会とは一

内閣府では「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会づくりの施策を総合的かつ計画的に推進しています。「狛江市男女共同参画推進委員会」は、この法律に基づき、内閣府の施策を推進し、狛江市の男女共同参画社会の形成を促進するための委員会です。

狛江の暮らしやすいまちづくりのため、会議で意見を交わしたり、皆で協力してフォーラム等を実施したり、日々奮闘しています。

狛江市からのお知らせ

男女共同参画理解のための研修会

〔日 時〕 平成29年4月27日（木）午後2時～

〔会 場〕 市役所4階特別会議室

〔テーマ〕 LGBTについて（仮）

〔講 師〕 NPO法人共生社会をつくるセクシャル・マイノリティ支援全国ネットワーク
代表理事 原ミナ汰氏

* 予約不要です。お気軽にお越しください。

女性悩みごと相談

〔日 時〕 毎月第2・4・5水曜日 午前9時～正午（お1人60分）

〔相談員〕 カウンセラー（女性）

カウンセリング・心の相談

〔日 時〕 毎月第1・3水曜日 午前9時～正午（お1人60分）

〔相談員〕 カウンセラー（女性）

* 市役所2階市民相談室にて。ご予約は秘書広報室（03-3430-1111）まで。

東京都の男女共同参画に関するサイト

◇東京都生活文化局男女共同参画

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/>



◇TOKYO ワーク・ライフ・バランス

<http://www.tokyo-wlb.jp/women/>



◇東京ウィメンズプラザ

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/Default.aspx>



情報冊子 & おしぼりタオルを差し上げます



◆情報冊子「今考えたい男女共同参画」

◆キャッチフレーズが印刷された「おしぼりタオル」
を差し上げます！

ご希望の方は、下記までご連絡ください。

※ 数に限りがあります。



本情報誌に関するご意見や男女共同参画に関するご意見等、下記連絡先までお寄せください。

発行・編集 狛江市男女共同参画推進委員会・狛江市 平成29年3月発行
狛江市 企画財政部 政策室 協働調整担当 〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL 03-3430-1111（内線2454） FAX 03-3430-6870
E-mail kyodot@city.komae.lg.jp